

どこが違うの？ ここでしょう！

mylight（照明ユニット）

開発コンセプト

東北大震災時に個人個人の明かりが必要だった。生活の照明が必要だった。乾電池が不足した。長時間かつ永遠に使える器具が必要だった。これらの条件を満たす製品が求められた。

具体的な相違点

1. 形状

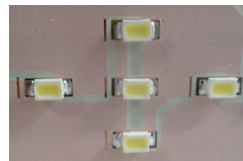
使用状況を想定しコンパクトに操作は単純に電池交換は単三一本をワンタッチで、ファッション性を重視し（カラー、デザイン意匠登録済）照明ユニットとして利用できる。

- ・ストラップ使用
- ・ポケット・ハンドバック
- ・壁貼り付け



2. 部材 LED

LED 素材はチップタイプとダイオード・タイプがあるが、チップタイプを採用している。LED 照明器具に採用されている素材で明るさ長寿命が保証されている。LED は高輝度タイプ



チップ型 LED

（LED 照明器具で仕様される）

LED light

単機能とコストを意識した製品が多い。価格重視で使えば良いの設計が見受けられる。電池の交換が不便で使い捨てになるような製品も数多く見受けられる。



機能に応じて各種あるが汎用性は乏しい。懐中電灯タイプ、非常時照灯タイプ（手回し発電ソーラーチャージ）、ブザー鳴動防犯用、ヘッドギア・タイプ、壁掛けタイプなど



使用目的に応じて形状がことなる



ダイオード LED

（イルミネーション他装飾用に使用）

LED イルミネーション他でよく使われており砲弾状のチューブで覆われている。発光効率と電力消費に劣るが価格は極めて安い。本格的な照明器具には使用されていることは少ない